

http://www.ptakofu.org

新役員でスタートしました。皆様のご協力をお願い致します。

平成23年度スローガン

『育てよう!子どもたちの「夢」、そして生きる「力」』



甲府市小中学校PTA連合会情報活動部
市P連事務局
〒400-0043 国母4丁目15-19
TEL 222-3866
FAX 222-3889
http://www.ptakofu.org
Eメール info@ptakofu.org
印刷 総合印刷王文社



甲府市小中学校PTA連合会
会長 中川 智晴(東中)

ご挨拶

皆さんこんにちは、平成23年度甲府市小中学校PTA連合会会長の中川智晴です。どうぞよろしくお願ひします。

私は市P連に関わるようになって四年目となりました。三女の末っ子が中3という事で今年が最後の年となります。

今年のスローガンを「育てよう!子どもたちの「夢」、そして生きる「力」といたしました。

子どもは夢って何だろう? 出来ることならその夢をかなえてあげたい、そして勇気や希望をたくさん持って生きて欲しい。

そんな思いをスローガンに込めました。

今年東北地方で大きな地震が発生しました、そして多くの方が被災しております。どんな状況であっても子どもたちに「夢」を持ちそして夢を語り、それを「生きる力」としてもらいたいと思います。また、我々大人も風評被害の被害者にならないよう正しい情報と正しい判断で東北地方を応援しましょう!



今年度の全体研修会は親子で参加出来る形を考えております、多くの方のご参加お待ちしております。

PTAとしてのメリットを引き出せるような活動を考えながら行動していく市P連としていきたいと思ひます。

どうか一年間よろしくお願ひします。

Table with 4 columns: Position, Name, School, District. Lists board members like 会長 中川 智晴, 副会長(東) 石原 初江, etc.

平成二十三年度市P連役員

部長 中島 智子 (伊勢小)
副部長 伊勢 小

部長 野澤 美恵 (南中)
副部長 野澤 美恵 (南中)

研修部

部長 野澤 美恵 (南中)
副部長 野澤 美恵 (南中)

母親委員会

委員長 依田 秀子 (玉諸小)
副委員長 依田 秀子 (玉諸小)

教育振興部

部長 野澤 美恵 (南中)
副部長 野澤 美恵 (南中)

企画調査委員会

委員長 古屋 義博 (北中)
副委員長 古屋 義博 (北中)

情報活動部

部長 塚原 郁子 (西中)
副部長 塚原 郁子 (西中)



教育振興部では、子どもたちの夢実現のサポートが出来ますよう研修部や役員の皆様と協力して、一年間の活動を全うしたいと思います。

部長 野澤 美恵 (南中)
副部長 野澤 美恵 (南中)

情報活動部では、年二回の新聞発行を予定しております。

部長 塚原 郁子 (西中)
副部長 塚原 郁子 (西中)



表敬訪問

六月二十三日、平成二十三年度常任理事会役員で宮島雅展市長を表敬訪問しました。

南中PTA新聞「みなみ風」2年連続の県P表彰

~その秘訣を探ってみました~

南中学校の広報委員会は「広報誌を是非作りたい!」とか、「記事を書くのが大好き」とか、「広報委員以外はやりたくない!」という人ばかりで構成されているわけではありません。どちらかというと、広報だけはやりたくなかったという人がほとんどです。役員をお願いされ、断りきれず受けてしまった、いい人の集まりです。なんて紹介すると語弊があるかもしれませんね。他の専門部の人たちも、もちろんいい人ですよ。そういうわけで、苦勞する点は、役員決めです。どこの学校も同じだと思いますが...でも、南中学校の違ひ点は、受けた後、楽しく活動できることではないでしょうか。「PTA活動は楽しくやりましょう。楽しくなければ楽しくなるようになります。」というのがPTA会長のモットーなので、その言葉を真に受けて楽しく活動しています。

広報委員になるまでは読む側、受け取る側だったわけですから、こういう記事は読まなかった、つまらなかった、という内容のものは、「県主催の広報誌の作り方講習会」で学んだノウハウを活用して、自分たちが読みたいと思うような記事にして、感じたままを紙面に一つずつ作っていきます。学校行事や、PTA活動の取材なども、初めて経験することばかりです。でも、初めてすることって、わくわくドキドキしますよね。そのわくわくドキドキをたくさんの人に伝えたいという思いが素敵なPTA広報誌になるのだと思います。



県P総会において表彰を受ける

単Pあつかる

うちの学校 自慢のPTA活動

この学校のPTAも様々な特色ある取り組みをしています。今回は5つの学校のPTA活動を紹介します。

大里小学校



大里小学校では、東日本大震災救援活動について紹介させていただきます。この取り組みは、3月11日に起きた大震災の詳細な情報が入りはじめ、被災地では食料や日常生活品はもちろん、子ども達の学用品も不足し困窮していると伝わり始めた4月上旬、「東北の子ども達に何かしてあげたい」とのPTA会長の強い意志と発案により、被災地に学用品を送ることとなりました。ときは年度の変り目であり、PTAとして活動するには難しい時期でしたが、一刻も早く送ることが大切と考え、すぐに各家庭に協力要請し、家で眠っている文具類の収集を開始したところ、1週間あまりで鉛筆、ノート、消しゴムをはじめ、マーカーやシャープペンシルなど段ボール箱10箱の文房具を集めることができました。

また、この取り組みを知った業者さんからは、新品の体育着や未使用の紙類まで頂くことができました。収集後は被災地で使いやすいように仕分けを行いました。この作業では、PTAの役員のみならず児童会の子供達や仕分け作業をご覧になった来客者の飛び入り協力もいただき、短期間のうちに完了し発送することができました。

発送後しばらくして届いた被災地の子ども達の手紙を拝見し、被災地の子ども達に少しでも役に立つことができよかったですという安堵の気持ちとともに、今回の取り組みを通して、当校の児童たちにとっては、「助け合い」の気持ちを育む非常に良い機会であったものと感じました。

西中学校PTAの特色は、長い伝統に裏打ちされたバラエティーに富んだ各種の活動にあります。

平成22年度も林PTA会長から提案された「全員参加のPTA活動」を基本姿勢にして、本会と四つの専門部を中心にその活動が展開され、それぞれが独自性を保ちつつお互いが協力し合うことによって数々の成果を上げることができました。

保健体育部は毎年6月に実施している「PTA球技会」とそのための2回の練習会をおこないました。大会では各学年と教職員が各2チームずつを編成して、ソフボールで勝利を目指して頑張りました。また、「青雲祭」(学園祭)体育部門では、猛暑のために生徒たちに向けた給水活動も急遽実施しました。

生活指導部は7月の「西中地域連絡協議会」や地域内の祭礼時の街頭補導、登校時の交通安全指導を実施しました。

広報部はPTA新聞「青雲」№52・53を昨年度からカラー版で発行することができました。

研修部は6月に「デコページ講習会」を開催し、作った作品を青雲祭に展示しました。さらに、12月には「西中学校を美しくする会」をおこないました。NPO法人のご協力をいただき、本校生徒や保護者を含めて県内外から約160人もの参加がありました。本校トイレを隅から隅まで掃除することによって謙虚な心や感謝する心の大切さを学ぶことができました。

PTA本会は学園祭でバザーを実施しました。昨年度は、給食メニューで生徒たちに最も人気のある「焼きプリンタルト」を販売することで、部活動のユニフォームを新調することができました。たくさんの皆さんにご協力をいただきました。

このようなバラエティーに富んだ活動を展開する西中PTAの様子は、すべて「西中ホームページ」でご覧いただけます。

西中学校



附属小学校



附属小学校の伝統的な行事のひとつに「あおぎり祭り」があります。子どもたちによる縦割り班ごとのお店の企画・運営とPTA主催の文化展、バザー、喫茶店で構成され、学校全体がとても賑わう一大イベントとなっています。例年、役員が中心となり趣向を凝らすこの催しは大盛況で、特に、厚生部(4年PTA)が担当するバザーでは、その収益金を子どもたちの学校生活に生かしていくため、力が入ると共にプレッシャーも感じるそうです。昨年度も、「客寄せ」となる品物は何にするか、限られた予算の中で価格、品質、品数等、満足していただける物を決めるのに時間もかかり、その後の仕入れ先との交渉等、慣れない仕事に緊張の連続でした。各御家庭から御協力いただいた遊休品のあまりの多さに驚きながら、種類分けや値付けというたいへんな作業にも取り組みました。ラッピングも見栄え良く、価格設定も手頃でなければなりません。部員全員で連日の地道な作業となりました。

バザーの前日や当日は学級当番の保護者の方々のお手伝いもあり、この大役も何とか乗り切ることができました。終了後の達成感と喜びは笑顔となって素晴らしい経験となり、保護者同士の絆も深まったように感じます。いつも励ましながらお手伝いくださった先生方、そして温かく応援してくださった保護者の皆様に心から感謝しております。

城南中学校

「学校自慢」で城南中が第一に挙げるもの、それはロードレース大会でしょう。かつては市内のどの中学校でも「競歩大会」として行われていたそうですが、現在も実施しているのは城南中一校のみ、ということです。

このロードレース大会では、生徒たちは荒川沿いのサイクリングロードを、それぞれのペースに合わせて10キロコースから5キロコースのどちらかを選んで走ります。そして当日は先生方、PTAの役員さんはもちろん保護者の方たちが大勢ボランティアとして参加し、コース上での応援や給水所の運営、巡回などのお手伝いをします。研修部の役員さんは万が一に備えて、事前に心肺蘇生法の講習も受けたそうです。こうして今年も6月1日に校内ロードレース大会が開催されました。目の前を汗だくになって必死に走る生徒たちに大きな声援を送ったり、先頭を走る生徒の速さに驚いたり。そして去年より速いペースで走る我が子を見つけて嬉しくなったり。ロードレース大会は、教室の中だけでは分からない子ども達の成長を知ることができる貴重な時間でもあります。

城南中を代表とする行事として今後もずっと続いて欲しいと思います。



玉諸小学校では毎年11月の第2土曜日に「フェスティバルたまもろ」を開催し、多くの保護者や地域の方々で賑わいます。これは児童会主催のイベントで、全校児童が縦割り班に分かれ、それぞれ「スライムの店」「3D眼鏡で3D画像が見られる店」「割りばし鉄砲の店」などたくさんの店を開きます。子どもたちは、この日のために5~6年生がリーダーとなり下級生の面倒を見ながら班ごとに準備をします。

当日も学年を越えみんなで協力して店を切り盛りします。その姿は、とてもいきいきとしていて、普段家庭や学校で見ることのできない一面を見ることが出来ます。

PTAも各学年の役員が協力し、バザーを開いてこのイベントに参加しています。バザーも多くの人が訪れ、毎年大盛況します。この売り上げは、教育活動の支援として小学校に寄付しています。

このようにフェスティバルたまもろは、地域と子どもたちの交流の場、保護者と学校の交流の場、子どもたちの主体的な学習活動の場として有意義なものとなっています。



玉諸小学校

活動計画

企画調査委員会

- 委員会の開催 六月二十三日・十月二十四日
- 予算要望等のアンケート調査及び研究 七月
- 各校からの意見・要望アンケートの実施 七月
- 全体研修会への参加協力 十二月十七日

母親委員会

- 委員会の開催 (ブロッコ会議を含む) 五月七日・六月二十五日
- 十月(予定)
- 平成二十四年二月(予定)

研修部

- 第一回部会 七月十六日 (教育振興部と合同開催)
- 第二回部会 十月 (教育振興部と合同開催)
- 全体研修会 十二月十七日 (教育振興部と合同開催)
- 第三回部会 平成二十四年二月 (教育振興部と合同開催)

情報活動部

- 第一回部会 六月二十五日
- 市P連だよりの発行 年二回(七月八日・三月八日)
- 全体研修会への参加協力 十二月十七日
- 第二回部会 平成二十四年二月

教育振興部

- 第一回部会 七月十六日 (研修部と合同開催)
- 第二回部会 十月 (研修部と合同開催)
- 全体研修会 十二月十七日 (研修部と合同開催)
- 第三回部会 平成二十四年二月 (研修部と合同開催)